

ちほみのり速報

No.8

『早生』多収米の確立を目指して!!

ちほみのりは、7月17日に穂揃期を迎え、今週は傾穂期となりました。これからは、台風やフェーン時の深水管理を徹底し、台風通過後に落水してください。ちほみのりは、収量性の高い品種のため最後まで登熟を意識した水管理が重要です。この先1ヵ月の天候予報は、気温が高く、降水量は平年並みと予報され、10年に一度の猛暑の見込みですので、収穫まで気を付けて管理をお願いします。

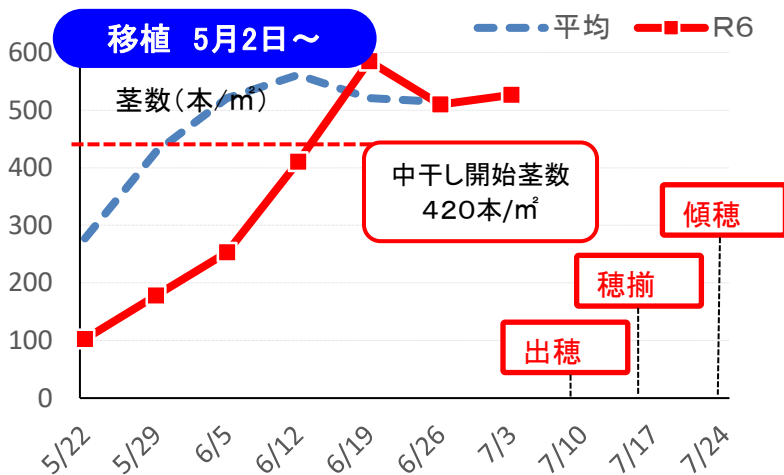
1. JA生育調査状況（7月24日現在）

栽培区分	平均作業日	草丈cm	茎数本/m ²	葉令	葉色	出穂
移植	-	-	-	-	-	穂揃期

【生育状況】

傾穂期を迎えました。先週に引き続き圃場を乾かすことなく、間断通水を継続し稲体に十分な栄養と水分を供給しましょう。

2. 茎数の推移と今後の管理

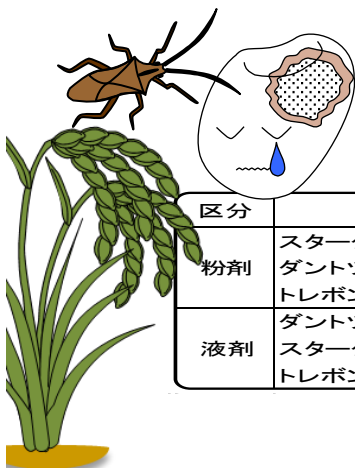


水管理の徹底で乳白粒防止

圃場内の溝切りや足跡に水が溜まっている状態を維持しましょう。



3. ちほみのり栽培管理のポイント！



『カメムシ防除』

今年は、カメムシの発生が多い！多発地域は防除を徹底しましょう。

区分	薬剤名	収穫前日数
粉剤	スタークル粉剤DL	7日前
	ダントツH粉剤DL	7日前
	トレボン粉剤DL	7日前
液剤	ダントツフロアブル	7日前
	スタークル液剤	7日前
	トレボンスターフロアブル	14日前



『高温時の水管理』

- フェーン現象(強風時)は、速やかに入水し、乾燥による稲の障害を防ぎましょう。
- 極端な高温が続く場合には、可能な限りこまめに水の更新をしましょう。

- 入水: 水位: 3程度
- この水管理の繰り返し。

自然落水

渇かし過ぎないように!!

足跡や溝に水が残っている状態で再び入水